

# かわねほんちょう 議会だより

第26号

平成24年5月発行

発行/川根本町議会  
編集/議会だより  
編集委員会



## \*もくじ\*

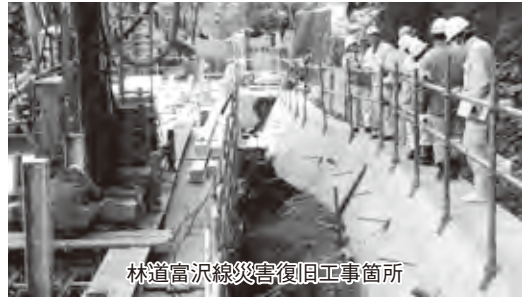
- 予算特別委員会報告…………… 2～3
- 第一常任委員会報告…………… 4
- 一般質問…………… 5～9
- 議会日誌・編集後記…………… 10

4月6日に行われた本川根小学校の入学式



# 委員会

～ 3月12日まで



林道富沢線災害復旧工事箇所

3月議会は2日から15日まで14日間開かれ、初日は議案21件を可決、2議案が第1常任委員会へ、7議案が予算特別委員会にそれぞれ付託されました。

予算特別委員会は5日から11日まで担当職員に出席いただき予算内容について審査を行いました。12日午前には青部吊り橋、林道富沢線災害箇所などの現地調査、午後から全予算の採決を行い、委員会に付託された7議案を可決しました。

委員会審査を抜粋して報告します。

## 生涯学習課

### 社会教育総務費

・11節 修繕料(28万8千円)の増額は太鼓の革の張り替えによる。  
文化会館運営費  
・自主事業パートナー業務委託料(700万円)の内訳について質問が

あり、内、人件費200万円での公募について、働く人の意欲を考慮してほしいとの意見があった。

### 海洋センター運営費

・研修旅費(75万2千円)について質問があり、育成士の資格を取るための研修(44日間)費用が主であるとの説明があった。

## 総務課

### 一般管理費

・庁舎常駐警備委託料(74万4千円)について、町外業者でなくシルバー等に委託したらどうかとの意見があり、現契約業者は緊急時の知識がある専門業者であると説明があった。

### 文書管理費

・消耗品費(624万6千円)の増額については、チラシ等をカラー印刷機で作成するため、インク代や用紙代が増えるとの説明があった。

### 山村開発センター等運営費

・自動ドア保守点検委託料(1万円)の減額については、公共施設をまとめて見積もり合せを行った結果であるとの説明があった。

### 消防施設費

・工事請負費(4千165万円)に質問があり、久野協詰所解体新築工事、耐震性貯水槽4基分の整備、火の見櫓の移設、ポンプ小屋修繕費であると説明があった。

### 災害対策費

・防災ラジオ(1千400世帯分)について質問があり、備品購入費(2千405万5千円)に含まれるとの説明があった。

## 議会事務局

・議員共済会負担金(1千594万円)については、負担率の減による減額となった。

## 生活健康課

### 後期高齢者医療費

・人間ドック費用助成委託料(268万3千円)の増額について質問があり、24年度は1泊2日コース19人、日帰りコース30人、脳ドック検査26人分を計上したとの説明があった。

### 母子保健費

・特定不妊治療費補助費(144万円)に質問があり、県の助成金を引いた残りを町が負担するもので、本人へ直接支払うとの説明があった。

## 建設課

### 林道費

・委託料(2千152万4千円)の対象路線は、南赤石線、塩野線、塚ノ山線である。

### 道路維持費

・工事請負費(2千400万円)の内、箇所付けない予算部分について

質問があり、地区からの要望や緊急な要望に備えるためとの説明。

## 企画課

### 企画総務費

・前年度予算額に対し239万円の減額となったのは、総合計画策定関係経費の減額が主な要因であるとの説明があった。

### まちづくり事業費

・前年度予算額に対し631万1千円増額の内容は、県と浙江省の友好都市提携30周年記念事業参加費用、空き家バンク事業等の新規事業であるとの説明があった。

### 環境企画費

・大井川水利権更新時期について質問があり、平成30年3月に大井川、大間、湯山、12月に湯山発電所、平成31年に塩郷ダム、川口発電所、畑畑第1・第2であるとの説明があった。

# 報告

# 別 特 算 予

平成 24 年 3 月 5 日

## 商工観光課

### ダム水源地域振興費

- ・大井川長島ダム流域連携協議会負担金（415万7千円）の構成市町と事業内容について質問があり、大井川流域7市2町でダム周辺の景観整備や施設管理を行う。事務局は島田市役所内にあるとの説明。
- ・寸又峡露天風呂改修計画については24年度で計画を策定するとの説明があった。

## 福祉課

### 社会福祉総務費

- ・遺族会の現状について質問があり、社協に事務局がある。内容については、遺族会の予算は300万円で半額が町の補助金となっているが事業費の2分の1以内で補助しているとの説明があった。
- ・心身障がい者福祉費
  - ・障がい者自立支援給付費（1億4千474万9千円）の増額見込について質問があり、年間を通して予算化したものとの説明があった。

## 産業課

### 農業振興費

- ・放射能被害対策活動費補助金（140万円）は共同茶工場35件、自園部会105件分。
- ・林業振興費
  - ・野生鳥獣等被害防止対策事業補助金（200万円）について質問があり、電気柵等設置50カ所分との説明があった。
- ・町育林管理費
  - ・コナラ大井川負担金131万7千円は、町有林の再更新分である。

## 教育総務課

### 教育諸費

- ・私立幼稚園経常経費補助金について質問があり、補助率は県補助の3分の1以内で上限額は300万円であるが、これについては今後検討すると説明があった。
- ・通学バス等運営費
  - ・委託料（3千318万円）の700万円増額について質問があり、平成

24年7月で契約が終わり、8月からの3年分は単価が上がる見込みとの説明があった。

### 教育振興費（小学校）

- ・パソコンの借上料（662万3千円）については新しく整備したパソコンのリース料であるとの説明があった。
- ・教育振興費（中学校）
  - ・海外英語研修事業委託料（660万円）について質問があり、英語力の一定基準を満たしている生徒については補正してでも増員を考えている。今年度は50名中18名を予算化したとの説明があった。

当たり3万7千163円との説明があった。

### いやしの里診療所事業

- ・一般管理費
  - ・医師に支払う金額はとの質問があり、1千800万〜2千万円で募集していると説明。

## 簡易水道事業

### 水道維持管理費

- ・水源地の落雷対策について質問があり、24年度に防雷対策業務委託料（212万4千円）を計上し、計画を作るとの説明があった。

※（ ）内の数字は

今年度の予算額

## 特別会計

### 後期高齢者医療事業

- ・後期高齢者医療広域連合納付費
  - ・対象者の人数と一人当たりの納付金額について質問があり、対象者は2千294人で、一人

### もりのくに運営費

- ・購入予定の送迎車（315万円）の管理について質問があり、町で購入して維持管理は指定管理者で行うと説明があった。

### 子育て支援対策費

- ・放課後児童クラブの利用状況は旧中川根地区で17名・旧本川根地区で9名である。



寸又峡の町営露天風呂

# 第1常任委員会審査報告

3月定例会初日に提出された2つの議案について、第1常任委員会において審査が行われました。

## 介護保険条例改正

### 介護保険料値上げ！

3月9日午後1時から、第一常任委員会に付託されていた「川根本町介護保険条例の一部を改正する条例について」の審査を行いました。

今回の条例改正は、3年ごとに見直すことになっていく65歳以上の第1号被保険者の介護保険料（平成24年度（26年度分）を、基準額で月830円、年9千960円引き上げる改正と、所得段階の対象所得額を7段階の100万円～200万円を190万円に下げ、8段階の200万円～300万円を190万円からとして、低所得者の負担軽減のための財源

確保を図るものです。

これにより、第7段階から第8段階に移る人はこれまでの保険料4千836円から6千540円に、月額1千704円増、年額では約2万円の値上げとなります。

審査では、大幅な引き上げとなる理由について質疑が行われ、①介護給付費の見込みが年1億円平均で増えていること。

②国が費用の50%を保険料としている部分で第1号被保険者20%、第2号被保険者30%の負担割合を21%対29%と65歳以上の負担を増やしたこと。

③介護従事者待遇改善の国交付金を廃止して介護給付費を引き上げること、等が原因との説明がありました。

委員からは、保険料

段階が少なく、所得が無い人でも基準額の半分までしか下がらないことや、介護費用の負担割合を国は半分に減らし、保険料で半分賄い、介護サービスを充実すれば保険料が上がる仕組み自体に問題がある。国の負担割合を増やすよう意見を挙げたり、予防事業に関わる費用は本来町がやるべき保健・福祉事業で、ここに十分力を入れて重症化を防ぐためにも一般会計から繰り入れるべき等の意見が出されました。

審査の結果、採決を行い、反対1、賛成2で可決されました。

## 総合計画

3月13日午前9時10分から第一常任委員会に付託されていた「第一次総合計画基本構想の変更及び後期基本計画の策定」の審査を行いました。

平成18年度に策定された第一次総合計画は、10年後の町の将来像である「水と森の番人が創る癒しの里川根本町」～豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、誰もが安心して暮らせるふるさと～の実現に向けた取り組みを行なってきましたが、中長期を見通して施策の方向を明らかにした前期基本計画は平成23年度をもって最終年度となります。そのため、前期基本計画の進捗度などを検証するとともに、現在の社会情勢や実態との整合性を図る

ため、基本構想の変更と後期基本計画を策定するものです。

策定に当たりましては、町民アンケートの実施、子ども会議や町民ワークショップの開催及びパブリックコメントの募集などにより、多くの町民の声をいただき、その意見を反映すると言うことを最も重視いたしました。

また、副町長を委員長として、室長・係長で構成する策定委員会を設置し、役場職員全体で検討を重ねることによって計画内容に深くかかわってきました。この基本構想の変更と後期基本計画の策定は、川根本町総合計画審議会におきまして、5回の慎重な審議を経てまとめられ、答申をいただいたところです。

第一次川根本町総合計画基本構想の変更及び後期基本計画の策定につきましましては、川根本町議会の議決すべき事件であります。委員会での質疑の抜粋は次のとおりです。

**Q** ダムの町とあるが観光の町ではないか。

**A** 上程された答申であり、自由に何もかも変えるのでは困る。観光は後にも出てくる。

旧本川根町ではダムで発展して来た。変えるなら行政の修正か、委員会の修正か2つの方法があるが行政の自主修正とする。

**Q** 情報通信格差の是正と行政サービスの向上について、行政サービスをどのように捉えているのか。

**A** 利活用を十分に行うことが、行政サービスと捉えている。

審査の結果、採決を行い、全員賛成で可決されました。





中野 暉 議員

問

- 孤立した富沢地区の今後の対応について
- 崩落現場はいつごろ通れるか
- 青部吊橋の撤去はいつごろか
- ワークショップでの吊橋の位置づけは

**質問** 大井川に架かる仮橋についての対応は。

**町長** 大井川の工事用道路として仮橋を設置したもので、工事が終了するまでの期限付きで使用許可、工事終了の3月15日限りとなっていたが、地元の皆様の強い要望により19日まで延長となりましたが、諸事情により河川内への生活道路の設置は認められず、ご理解をお願いするものです。

**質問** その他の工事に関連して仮設道を再設置願えないか。

**建設課長** 大井川の仮設道は4月から9月の雨季時期には、作業用の仮設道としても県の河川占用は認められない状況です。

**質問** 崩落現場の早期復旧工事について伺う。

**町長** 復旧工事は順調に進捗し、当初の7月末完成を見直し6月末には完成の見込みであります。現在現場には歩行用の仮設道を設置し、一番茶開始までには車両通行可能な仮設道を設置したいと考えています。

**質問** 崩れやすい岩盤の現場を歩行する際の安全対策はどうか。

**建設課長** のり面の土質が崩れやすい状況にあります。全体にネットをかけてあります。また、大きな地面の動きにはサイレンを設置しました。

**質問** 迂回路について計画を伺う。

**町長** 12月の議会において測量設計の補正予算が承認され、関係者の土地立ち入り承諾書も整い3月下旬には測量業務委託を発注、工事着手は来年度から、工事期間は3年を予定しています。

**質問** 青部吊橋の撤去



青部の吊橋

について伺います。

**町長** この吊橋は、昭和9年に国営の発電事業用に建設され、その後中電に移管。以来中電が維持管理をしてきました。平成20年に会社調査により、河川法の占用許可が未申請のため、追認許可を申請しました。しかし、吊橋の設置位置が低いなど設置基準に反する事で申請許可が出ず、吊橋を撤去し原状回復の指示を平成24年1月末に受け、中電は2月に住民説明会を開き撤去について説明しました。

**質問** 危険と言っても昭和九年設置から、流れる事もなく今に至っている、通行不能な老朽化まで延長は出来なにか。

**建設課長** 中電としても撤去の支持が出た以上長くも放置できない状況で撤去時期については不明。

**質問** 吊橋を存続できないか。

**町長** 河川法において現状のままでの存続は難しい状況となっているが、町としても存続に向けた要望を続けたと考えています。

**質問** ワークショップでの吊橋の取組はどうなるのか。

**町長** 青部バイパス工事に関連し、県が主催し、平成22年から始まり合計10回開催されました。青部バイパスを中心とした町づくりを熱心に調査検討を行っ

て頂きました。町としても出来る限りの協力をしていきたいと考えています。

答

- お茶時期までには仮通行可能を目指す
- ハイキングコースに吊橋は集客ポイント



鈴木多津枝 議員

- 一般会計からの繰入で値上げ回避を
- 子育て支援・子どもが増える町づくりを
- 地場産業への若者雇用対策を
- 庁舎内に障がい者の販売所設置を

問

**質問** 国保の運営状況は？一般会計からの繰入で値上げ回避を。

**町長** 75歳以上が後期高齢者医療制度へ移行し、被保険者は年々減少し高齢化している。税率を据え置いて基金を取り崩してきたので基金も減り今年度末で約1億3千万円になった。国保の広域化が検討されているが、税率が低い当町は負担が増えることを県へ訴え、町も一定水準に上げる改善や、疾病予防・健康保持等、町民生活の安定を図りたい。今年度末滞納額は3千400万円、146世帯。短期被保険者証は24世帯55人、資格証明書は3世帯3人。一般会計からの法定外繰入は国保に加入していない人にも負担させることになり、基金もあるので行う予定は無いが、地域経済の冷え込みや被保険者の

**町長** 元の藤川保育園を地域子育て支援施設として運営し、放課後児童クラブや放課後



徳山沢協団地建て替え後の空き地

高齢化で所得が減少し、基金も減少が見込まれ、税率引き上げと合わせて検討課題と考える。

**質問** 子どもが増える町づくりを。

①子育て環境が整っている徳山に若者住宅建設を。②子どもが増えている住宅地へ遊び場の設置を。③休園中の地名保育園再開を。④出産祝い金増額を。⑤学校給食費無料化を。⑥高校生の通学費支援 ⑦奨学金の増額を。

ども教室、中学卒業までの医療費全額補助や小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン接種助成など他の自治体に先駆けて実施し保護者の支援に努めている。

①知事より当町へ家庭菜園つき住宅建設の話があったが計画が見送られた。今、住宅建設計画は無いが今後の検討課題である。民間住宅活用や空き家対策を進める。②町有空き地への遊び場整備は可能。

③地名保育園再開の希望は少ない。毎週金曜日に職員が行き子育て支援を行っている。園庭は常時開放している。

**質問** 地場産業への雇用確保・後継者対策を。

関心を持つ若者に所得保障や住宅提供など定住支援を行い、若者を呼び込み流出を食い止める考えはないか？

**町長** 平成18年度から林業振興基金を活用し

た担い手育成事業で、町民を雇用した場合5年間補助金を交付し、毎年2人程雇用している。集約化施設や林業生産の拡大が見込まれ、森林組合の作業員雇用は拡大すると考える。

**質問** 役場ロビーに障がい者用定期販売所を設け、交流や生きがいを広げる取り組みを。

**町長** みどりの丘で作った製品は四季の里、音戯の郷、その他町内協力店、県内福祉施設等で販売している。産業文化祭等にも積極的に参加し販売している。庁舎への販売所常設は



若者雇用で放棄茶園再生に取り組む

スペース的に難しいが、ギャラリーなら可能で、訪問者へのPRにもなる。施設の要望も踏まえ、就労意欲の支援に努めたい。

答

- 税率引き上げと合わせて検討課題である
- 他の自治体に先駆けて子育て支援している
- 担い手育成事業で毎年2人の雇用を継続
- ギャラリーなら常設可能でPRにもなる



中田 隆幸 議員

問

○防災ハザードマップ作成について

○グラウンドゴルフによる

町内旅館の誘客について

**質問** 大井川の洪水に伴う地域の防災ハザードマップ作成及び山間地における土砂災害などによる孤立集落が出来るための迂回路の計画について伺いたい。

**町長** ハザードマップ作成につきましては、平成24年度に作成予定で当初予算の中に計上させて頂きました。内容的には、土砂災害に対するものと大井川の洪水の二つを計画しております。土砂災害に対するハザードマップは平成22年度に作成し、各区の集会所等に置いてありますが、見る機会も少なく住民全員に周知出来ない事が指摘されておりますので、今回は地区別に一枚のマップにまとめて各戸に配布します。大井川の洪水ハザードマップは全地区共通のものを各戸配布します。土砂



昨年の台風15号による大井川の増水  
(本川根小付近)

災害の防止には急傾斜地の破壊防止対策、治山事業を実施してまいります。孤立集落の出来ない為の迂回路対策は、林道、作業道の建設を計画的に進め迂回路対策にする為に積極的に進めて行きたい。24年度は富沢地区を計画しております。

**質問** 昨年の15号台風時に桑野山地区住民が大井川対岸の沢間地区公民館に避難をする様に指示が出ました。増水し風も強い時に歩道橋も無い橋を渡り行く事は危険を伴いますのでこの地区での高台へ

の避難場所等を考えては頂けないか。

**建設課長** 被害想定地域を考慮しております。避難場所の検討も考えて行きたいと思えます。

**質問** 昨年10月に接岨地区で商工会、観光協会、旅館組合、中電様、翠紅苑様の協力によりグラウンドゴルフ大会を町外のお客様を対象に実施し優勝者に温泉会館の回数券を賞品に出した所大変喜ばれ、その後も会館に訪れてくれたと聞いております。そこで、この様な事業を行うにあたり、旅館とグラウンドゴルフ場のパックプランやグラウンドゴルフ場の紹介パンフレットが必要不可欠で、作成にあたり町としての支援が出来ないかを伺いたい。

**町長** 現在町内北部地区の15の宿泊施設と3箇所のグラウンドゴルフ

場で計画をしております。今後は町内全域で

**質問** 近隣の島田市ではマラソンによる誘客を行い年間多くの人が来ています。スポーツを通しての観光も考えてはと思えますが

**町長** 高齢化が進む中で老若男女が取り組めるスポーツですから今



グラウンドゴルフの様子

- 24年度に作成し各戸に配布する
- 誘客宿泊プラン等を観光資源として

答

町も協力したい

後愛好者も増えることが考えられます。そんな中で全国的規模の大会が出来、旅館等の誘客増員出来るならば、町としても是非協力したいと思えます。



問

○中川根3小学校の統合について



高畑 雅一 議員

平成 24 年 4 月 1 日 現在

平成24年度 中川根3小学校児童数									
学校	中川根第一小			中央小			中川根南部小		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	3	7	9	5	14	3	6	9
2年	4	4	8	7	4	11	5	0	5
3年	6	1	7	6	7	13	0	5	5
4年	5	6	11	8	4	12	4	3	7
5年	6	7	13	5	6	11	3	6	9
6年	12	5	17	10	3	13	4	8	12
計	37	26	63	45	29	74	19	28	47



元・本川根町立北小学校

**質問** 近年中川根の3小学校に入学する生徒が減少し、今後6年間を見ると2校の小学校においては10人を下回る統計結果が出ています。今後多くの小学校で入学児童の見込みない状況の中、中川根3小学校の学びの環境をどのように改善していくのか。

**町長** 中川根南部小学校において、本年度は2年生と3年生が合計10人となり複式学級になります。本来あるべき姿は、それぞれの学年が1人の先生の元で、しっかりと授業時間を生かして教えていただくことが本来あるべき姿です。

小規模校のよさを最大限に生かした学校運営を継続していくのか、小規模校の児童に欠けていると言われる切磋琢磨する気持ちや、自分の考えを自分の言葉で表現する力を確かにするためなどの理由から、小学校を統廃合していきかは、保護者の皆様の意見や、地域の方々の考え方を聞くとともに、教育委員会の方々の方針等も伺い、慎重かつ迅速に進めていかなければならないと考えています。

答

○慎重かつ迅速に進めていく





森 照信 議員

問

- 空き家提供者の募集について
- 災害時の町の被害想定は
- 森林経営制度改正への対応は

**質問** 空き家を提供する人をどのような形で探されるのか？

**企画課長** 空き家の提供者の募集は、基本的には町のホームページや広報誌等によって行います。また、町に帰ってこられた時に対応できるよう、区長さんをはじめとする町民のご協力など有効な方法があれば取り入れて物件の確保に努めていきます。

**質問** 空き家バンクも言われておりますが、町としての辺りまでかわっていかれるのか。

**企画課長** 空き家物件の確保、相談窓口を設け空き家購入希望者等の相談、物件契約等の連絡調整、契約成立後地元で挨拶などを行なっていくたい。物件の契約業務につきまは、宅地建物取引業者の仲介を進めるまでと考えております。

**質問** 県宅地建物取引業会島田支部や全日本不動産協会県本部等と協定を結び、空き家所有者と購入希望者との円滑な契約ができるよう体制を整備していきたい。



空き家対策に期待 (写真はイメージ)

**質問** 空き家対策、課内での職員配置はどのようなにされるのか。

**企画課長** 最重要課題として、対策室が一体となつて取り組めるよう配慮していきたい。

**質問** 課内全体でやるといわれているが、中心になつてやる人を決めないと責任、方向性もなく一年が過ぎてしまふのではないかと。

**町長** 事業を進めるなかで、この地域への理解を深めていただき、この地域を発信していきたい、そんな思いからスタートする事業です。進捗を見ながら何とか事業が功を奏するよう人事配置について考えていきたい。

**質問** 災害対策について危険箇所の探し出しは？

**建設課長** 町内危険箇所指定は185カ所です。

**質問** 町としての被害想定は？

**総務課長** 県の第3次被害想定に基づき危険度を予測し建物や人的被害などの試算値に基づき計画を立てております。

**質問** 被害を想定して町民に知らせる方法はどうか。

**町長** 土砂災害が一番大きな災害でありま

す。本年度は、ハザードマップ上に危険箇所を落とし込み、その後、危険地域には何らかの表示をすることも考えております。

**質問** 平成25年度より森林施業計画制度が変わりますが？

**産業課長** 森林経営計画は平成24年度までが移行期間で25年より育林、植栽など保育関係の事業補助は、森林組合、町、農林事務所など関係機関と協議していききたいと思ひます。



今後も適切な森林保全や整備を

○町ホームページ、広報紙などで、物件の確保に努めたい

答

○第三次被害想定にもとづき計画を立てる

○森林の適切な保全や整備に取り組みたい

# 議 会 日 誌

## 1 月

- 8日 消防団出初式、成人式
- 17日 議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会、全員協議会
- 27日 平成24年第1回臨時会



成人式



農業者研修大会

## 2 月

- 15日 川根地区広域施設組合議会
- 26日 生涯学習のつどい、農業者研修大会
- 27日 議会運営委員会、全員協議会
- 29日 全員協議会

## 3 月

- 2～15日 平成24年第1回定例会
- 5～12日 予算特別委員会
- 13日 第1常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 26日 全員協議会



町内小学校卒業式

## 6月の 議会日程

- 初 日 6月20日(水)午前9時 開会
- 最 終 日 6月28日(木)午前9時 開会

本会議はどなたでも傍聴できます。ぜひお越しください。議会の日程は変更になることもありますので、詳しい日程は議会事務局（電話56-2229）までお問い合わせください。

## 編集後記

あたたかさが日一日と増すごとに、人も動物もその活動が活発になります。私たち議会も、今年度の目標をしっかりと定め、新しい仲間とともに住民のみなさまの負託にこたえるべく、行動的に活動していきたいと思っております。議会解散請求にともなう混乱は、当町にとって決して名譽なことではありませんでしたが、そこで学ぶべきものもあつたようにも思えます。多くの住民の方が、真剣に町の行く末を心配してくれていることを知ることができました。大切なことであるにもかかわらず、知らず知らずにおろそかにしてしまう本来の議会の役割を、リコール投票運動の中で自覚させられた気がします。議員一同、新しい川根本町議会をつくるために力を合わせてやっていきたいと思っております。(S・I)

## 編集委員

(第一常任委員会)

- 委員長 中澤 智義
- 委員 板谷 信
- 委員 鈴木多津枝
- 委員 森 照信